ペレットストーブの暖房目安についての表示方法

2014 年 6 月 12 日
ペレットクラブ・ストーブ規格認証委員会

ペレットストーブの暖房能力について、ストーブ各社が各々の基準を採用していては消費者が正確な判断を下すことができません。そこで、当会では暖房目安をカタログやウェブ等に記載する際の統一的な基準を作成しました。

１．使用燃料の条件

暖房目安を求める際に必要となる暖房出力については、試験に使用するペレット燃料の発熱量が重要となります。当会では日本の状況を鑑み、以下の条件としました。

燃料規格	ペレットクラブ燃料規格　WPFS-1:2011
品質区分	A1
発熱量	4,300kcal/kg (LHV)

２．暖房目安（畳数）の求め方

暖房出力より暖房目安を求める数式は以下の通りです。

畳数（畳）　＝　１０００×Ｐ　／　Ａ

Ａ	適室基準値（W/畳）	木造戸建住宅：398 コンクリート集合住宅 :288	（出所）日本ガス石油機器工業会自主基準
Ｐ	暖房出力（kW）	各社で測定のこと	（参考）ペレットクラブ自主規格

※備考：暖房の目安は、室内外温度差が 15℃の「温暖地」（東京、大阪など）に於いて、「木造（戸建）」は木造戸建住宅、「コンクリート（集合）」はコンクリート集合住宅を指し、いずれも 1 重窓で断熱材なしの建物としました。断熱が施してある場合は、約 1.2 倍の広さまでが暖房目安となります。暖房立ち上がり時間を 30 分として、設定室温 20℃に達するまでの最大負荷計算により算出しています。

３．表示方法

カタログ等への暖房目安の表示方法は以下の通りです。

暖房出力	○.○○kW	暖房目安	木造（戸建）○○畳まで コンクリート（集合）○○畳まで

※備考：仮にパンフレット等に記載された暖房目安が、暖房出力に比べて過大、あるいは過小である場合は、２で示した数式で割り返すことで正確な値を求めることができます。